取扱説明書
ネッター小型ピストンバイブレータ NTS120HF~NTS350NF シリーズ

安全について

据付時はエアー供給が停止していることを確認してください。配管の接続はきつく締め付けてください。不十分な締め付けは怪我の原因になります。

弊社の許諾のない、当機の技術的な仕様変更や構造の修正による機器損害及び人災に対し、また当取扱説明書に記載の注意及び規制を遵守されずに起きた故障、事故に対し弊社は一切責任を負いません。

はじめに

ネッター社製小型ピストンバイブレータは EC 機械指令(2006/42/EC)に従い、特に DIN EN ISO 規格(DIN EN ISO 12100)を遵守しています。
このバイブレータはピストン式となります。一般的な用途は排出促進、搬送用シュート、ふるい、振動テーブルに使われます。バルク、紛体のブリッジ、ラットホール防止や流動促進にも使用されます。
食品工場、ウェットな領域、屋外や粉塵環境下での使用も可能です。振動数と振動力は供給されるエアー圧によって決まります。

駆動源:

フィルター(≤5um)を通した 0.2~0.6MPa の圧縮エアーあるいは窒素ガスを供給して下さい。

全てのバイブレータはオイルミスト潤滑が必要です。無酸性、非樹脂性のエアーオイル(DIN51519 に従った ISO 粘度グレード VG5~VG15)を使用することを推奨します。
また、供給エアーは 0.6Mpa を超えないようにして下さい。

ノイズレベル:

ノイズレベルはバイブレータのタイプ・エアー圧によりますがサイレンサー装着時 60~75dB です。圧力が低くければノイズレベルも減少します。少しでもノイズレベルを下げるためにサイレンサーの装着を推奨致します。

据付

本機器は水平レベルの整ったきれいな表面上に固定します(ボルトサイズと締付トルクは表参照)。ボルトが緩まないようにセルフロックのワッシャー、ナット、ロックタイトを使用して下さい(スプリングワッシャーは使用しないで下さい)。土台のような補強部を使用することを強く推奨します。この補強部は被振動体に溶接して下さい。

供給エアー:

配管の長さに比例してエアーの抵抗は増加します。したがって 3mを超える場合は表に記載しているサイズより大きいサイズのものを使用して下さい。バイブレータの近くに 3 方弁を設置することを推奨します。距離が長くなる場合は、単純なエアー制御コントロールを使用して下さい。

エアー排気:

本体の排気口にホースを接続して排気することが可能です。排出ラインの配管を供給ラインのサイズより大きくすると排気エアーは十分に流れ、最大限に振動効果を発揮します。供給側同様、3mを超える距離になる場合は、通常より大きめの配管径を使用して下さい。サイレンサは常に排気口に設置して下さい。

タイプ	サイズ	締付けトルク	供給		排気用		水中使用	使用温度
			ネジ径長	配管径	ネジ径長	配管径		
NTS120HF, NF	M6	20Nm	G1/8x6	NW6	G 1/8	NW8	可	+5~+60℃
NTS180HF, NF	M10	18Nm	G1/8x6	NW6	G 1/4	NW8		
NTS250HF, NF	M12	20Nm	G1/8x7	NW6	G 3/8	NW8		
NTS350HF, NF	M12	30Nm	G1/4x7	NW6~10	G 1/8	NW8~12		

供給口はハウジング側にあります。表のサイズより長いオスネジを使用しないで下さい。本体の損傷原因となります。

供給エアー配管はしっかりと固定して下さい。エアーはサイレンサーを経由して排気されます。
ハウジングには設置用のネジ穴があります。

試運転および操作

本機器を据付後すぐに試運転を実施して下さい。エアー供給システムがエアー消費量に適しているか確認して下さい。さもなければ仕様動作を満たすことができません。

使用環境温度は 5~60℃です。この範囲外での使用しないで下さい。環境温度が 10℃を下回る場合は、始動エアー圧力が 2bar 以上必要となる可能性があります。
排気エアーを調整することで振幅を調節することが可能です。調整用の追加スロットルを本体に直接設置するか排気エアー配管上に設置することができます。

チェックリスト:

1. 据付は十分気をつけて行ってください。
2. エアー3 点セット(フィルター、潤滑、レギュレータ)をご使用ください。
3. 潤滑油の滴下量は 1 時間あたり 2~6 滴です
4. 固定ボルトの緩み、エアーホースの長さ・径を再確認してください。
5. 運転・停止には、2 方弁ではなく 3 方弁をご使用ください。

メンテナンス

NTS シリーズはウォータージェットなどで外観をクリーニングすることが可能です。
正常に動作させるためにはオイルミスト潤滑が必要です。定期的にオイルを追加して下さい。
必要なとき、フィルターやサイレンサを清掃あるいは交換して下さい。

供給エアーが汚れているとサイレンサに影響を与えますので極力クリーンなエアーを供給して下さい。

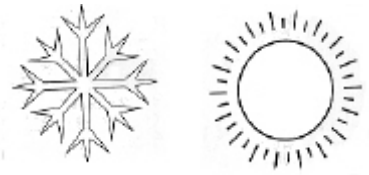
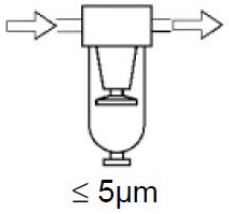
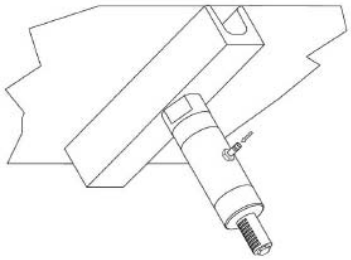
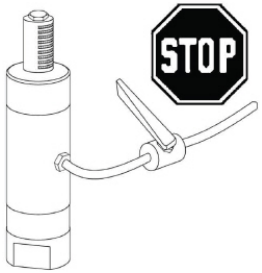
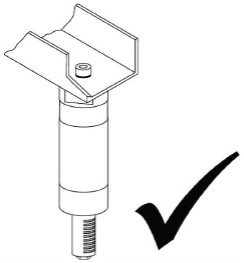
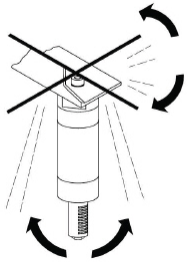
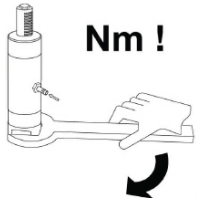
試運転 1 時間後に一度緩みを点検し再締付を実施して下さい(以後は 1 ヶ月に 1 度の点検推奨)。

廃棄方法:

使用不可となった各部品は分別処理し廃棄もしくはリサイクル処理願います。

販売元:NVN 株式会社
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4
TEL 0422-26-1141 FAX 0422-43-6010 http://nvn-japan.com

早見チェック表

 使用圧力範囲:0.2~0.6MPa **注:**0.6Mpa **を超えないように！**	 **使用環境温度:**+5℃~+60	 ≤5um **のフィルターを通過させたの圧縮エアーまたは窒素ガスを使用ください。**
 **土台のような補強部を使用することを強く推奨します。この補強部は被振動体に溶接して下さい。**	 **据付時はエアー供給ラインがオフになっていることを確認してください。**	 **大気中に排気できるように配管すれば液体中での使用が可能です。**
 **しっかり固定して下さい。**	 **緩まないように注意して下さい。**	1 **月** / 2 **月** / 3 **月** .....  1 **ヶ月に一度増し締めを行ってください。**

販売元:NVN 株式会社
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4
TEL 0422-26-1141 FAX 0422-43-6010 http://nvn-japan.com